

フィリピン鉄道会議で 鉄道学校VRなど披露

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタ
ンツグローバルはフィリピ
ンの首都マニラで10月25日
に開かれた「第1回フィリ
ピン鉄道会議」で、同社の
DX技術を活用した「フィ
リピン鉄道学校VR」を披
露した。同国パウティスタ
運輸大臣とロントック次官
がVR（仮想現実）を体験
した。同社はフィリピン運
輸省から受注した施工管理

業務の中で鉄道BIMを作
成しており、このBIMデ
ータを基にVRコンテンツ
を作成した。

パウティスタ大臣が体験
したVRでは、駅とトンネ
ル区間に加えて、フィリ
ピン鉄道訓練センターの設
備をVR空間で疑似体験でき
る。同センターの訓練生が
体験するVRのデモ用に作
成した。同社は今後、今回
作成したBIMやVRデー
タをフィリピン鉄道学校技
術協力プロジェクトで教材
に活用したり、鉄道沿線住

民のプロジェクトへの理解
向上に役立てたりする予定
だ。



VRを体験するパウティスタ
大臣（右から2人目、オリコ
ンサルグローバル提供）

同社のDXを活用して作
成した「鉄道プロジェクト
スマートマップ」も披露し
た。スマートマップは同国
運輸省の鉄道プロジェクト
のほか、空港、港湾、道路
分野など、同省が管轄する
他分野プロジェクトへの活
用も想定されている。

フィリピン政府はマニラ
首都圏で大型都市鉄道事業
を集中的に実施する中で、
DXを積極的に推進してい
る。同社は同運輸省と連携
しながら、複数の鉄道案件

や人材育成の場面で地理情
報システム（GIS）によ
る施工監理のスマート化、
BIMデータ構築監理、V
R教材活用による人材育成
の迅速化といった取り組み
を推進する。